



厚生労働省
島根労働局発表
令和4年4月27日(水)

担	島根労働局労働基準部健康安全課 課長 鈴木一聡 安全衛生係長 竹並政宏
当	電話 0852-31-1157

令和3年の労働災害発生状況を公表します ～休業4日以上^{みやぐちしんじ}の死傷者数が急増、死亡者数は2人増加～

島根労働局(局長 宮口真二)は、このたび、令和3年の島根県内における労働災害の発生状況を取りまとめましたので、公表します。

1 死亡災害【資料1・2・3】

労働災害による死亡者数は6人で、令和2年と比較して2人増加しました。
業種別の内訳は、建設業2人、第3次産業3人、その他の業種1人でした。

2 死傷災害【資料1・2・3】

労働災害による休業4日以上^{みやぐちしんじ}の死傷者数は825人で、令和2年と比較して137人(19.9%)増加しました。

特に第三次産業で417人(前年比87人(26.4%)増)、建設業125人(前年比24人(23.8%)増)増加し、第三次産業の中でも社会福祉施設117人(前年比28人(31.5%)増)、小売業98人(前年比19人(24.1%)増)で増加しました。

3 事故の型別による死傷災害発生状況【資料4】

「転倒」が187人(23%)と最も多く、次いで「墜落・転落」143人(17%)、「動作の反動・無理な動作」118人(14%)の順でした。

4 年齢別による死傷災害発生状況【資料4】

60歳以上が246人(29.8%)と最も多く、次いで50歳～59歳が203人(24.6%)、40歳～49歳が165人(20.0%)の順でした。

5 今後の取組

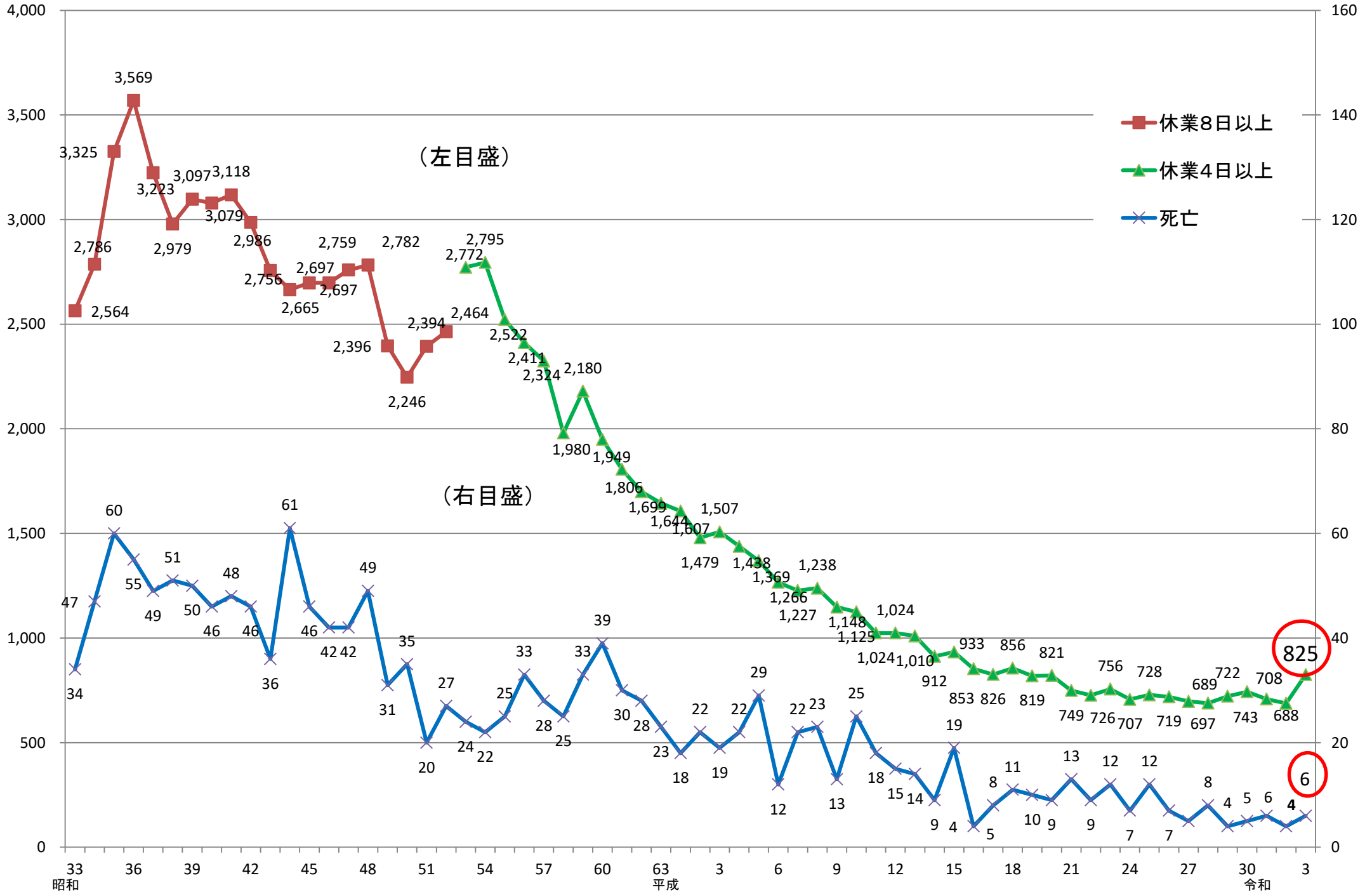
島根労働局では、平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間とする第13次労働災害防止計画を推進しており、令和4年度は最終年を迎えます。同計画達成に向け、関係団体、関係事業者に対する指導や働きかけを行います。

特に、介護施設、小売業において「転倒」及び腰痛等の「動作の反動・無理な動作」など、職場における労働者の作業行動を起因とする労働災害(以下、「行動災害」という。)が増加していることから、介護施設、小売業の自主的な安全衛生管理を促進するために、波及効果が期待されるリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体を構成員とする+Safe協議会(仮称)を設置し、取組目標の設定、行動災害の予防にかかる啓発資料等の作成を行うとともに、構成員の安全衛生管理の好事例を県内の事業場へ水平展開すること等により、県内全体の安全衛生に対する機運醸成を図ることとしています。

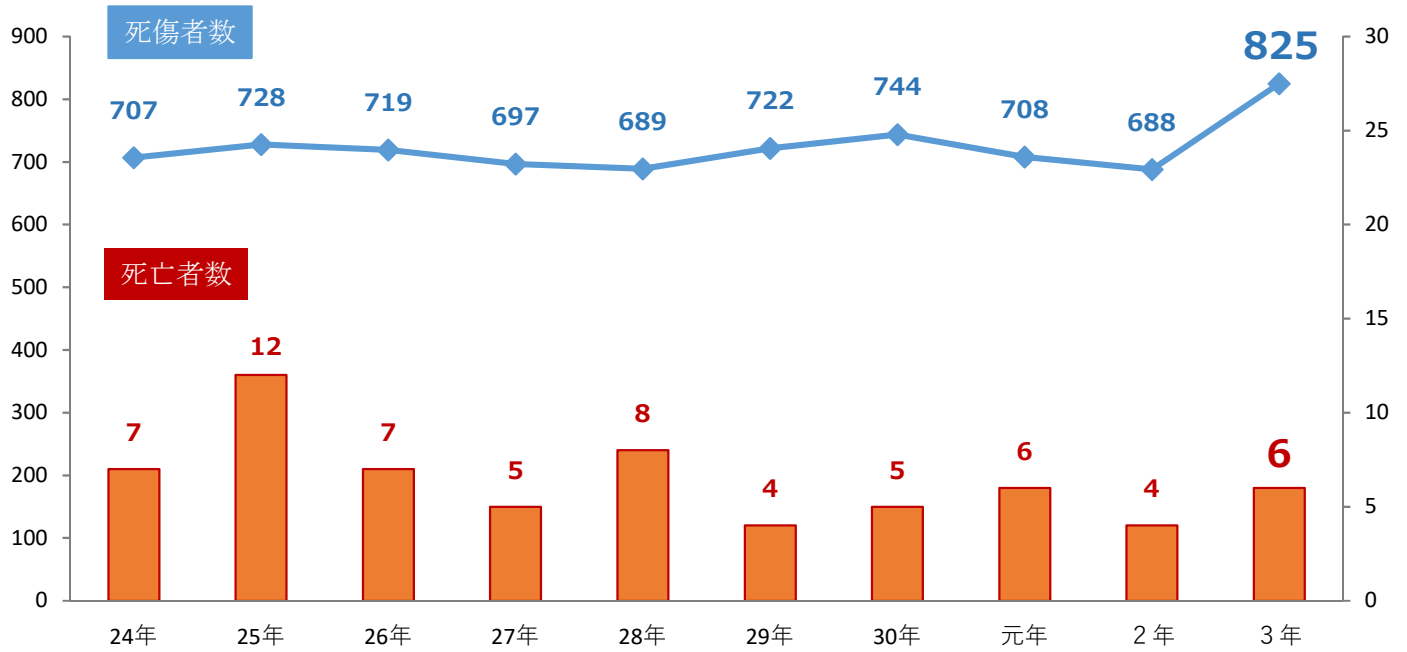
◆◆ スべっちゃダメよ！転倒予防ムチャしちゃうダメよ！腰痛予防 ◆◆
— キャンペーン実施中！！ —



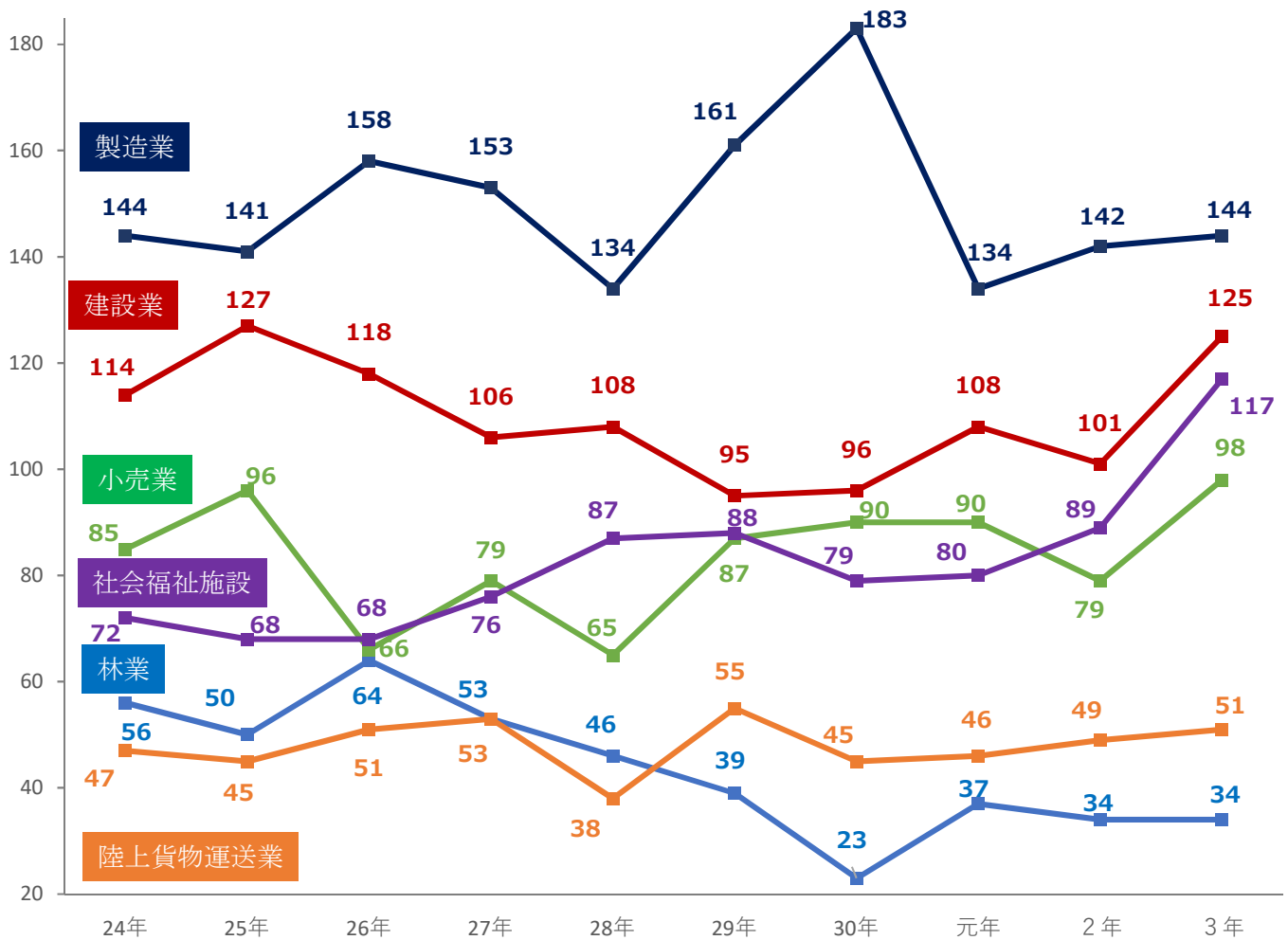
労働災害発生状況の推移（島根）



労働災害発生状況の推移



業種別労働災害発生状況



死傷者数、業種別労働災害発生状況（休業4日以上に限る）は労働者死傷病報告、死亡者数は死亡災害報告より

令和3年業種別・監督署別労働災害発生状況

業種	全署計						松江署						出雲署			浜田署			益田署												
	2年		3年		増減数	増減率(%)	2年		3年		増減数	2年		3年		増減数	2年		3年		増減数	2年		3年		増減数					
	死亡	死傷者	死亡	死傷者			死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者			
全産業計(除鉱山法適用)	4	688	6	825	137	19.9	2	261	2	330	69	0	8	0	25	17	1	252	2	297	45	1	96	0	112	16	0	79	2	86	7
製造業	食料品	0	33	0	43	10	30.3	12	17	5					0	13	17	4	6	6	0	2	3	1							
	繊維・衣服	0	3	0	3	0	0.0	1	1	0						2	1	▲1			0		1	1							
	木材・木製品	0	13	0	16	3	23.1	2	5	3				1		2	4	2	6	6	0	3	1	▲2							
	家具・装備品	0	3	0	0	▲3	▲100.0	2		▲2								0			0	1		▲1							
	パルプ・紙・紙加工品・印刷・製本	1	3	0	1	▲2	▲66.7			0						1	1	0	1	2	▲2				0						
	化学	0	12	0	16	4	33.3	4	5	1						3	5	2	1	2	1	4	4	0							
	窯業・土石	0	8	0	14	6	75.0	2	2	0						5	7	2	1	4	3			1	1						
	鉄鋼・非鉄	0	14	0	11	▲3	▲21.4	2	2	0						7	9	2	1		▲1	4		▲4							
	金属製品	0	14	0	9	▲5	▲35.7	2	4	2						3	2	▲1	1	1	0	8	2	▲6							
	機械器具	0	23	0	24	1	4.3	6	8	2						14	16	2	1		▲1	2		▲2							
	その他の製造業	0	16	0	7	▲9	▲56.3	10		▲10						2	4	2	3	3	0	1		▲1							
小計	1	142	0	144	2	1.4	0	43	0	44	1	0	0	0	1	1	0	52	0	66	14	1	22	0	22	0	0	25	0	12	▲13
鉱業	0	2	0	3	1	50.0	2	2	0							1	1				0			0							
建設業	土木	1	29	1	48	19	65.5	1	5	10	5			1	1	13	16	3	6	13	7	5	1	9	4						
	木造建築	0	28	0	15	▲13	▲46.4	6	7	1					0	14	2	▲12	6	5	▲1	2	1	▲1							
	その他の建築	1	27	1	38	11	40.7	1	11	18	7	1	2	1	11	1	12	1	5	6	1			2	2						
	その他	0	17	0	24	7	41.2	4	6	2					1	9	13	4	2	3	1	2	2	0							
小計	2	101	2	125	24	23.8	2	26	0	41	15	0	1	0	4	3	47	1	43	▲4	0	19	0	27	8	0	9	1	14	5	
運輸	道路貨物運送	0	49	0	51	2	4.1	25	21	▲4					1	1	13	20	7	9	4	▲5	2	6	4						
	その他の運輸	0	5	0	17	12	240.0	3	10	7					1	1		4	4		2	2	2	1	▲1						
林業	伐木・搬出	0	15	0	18	3	20.0	3	4	1	1	3	2	4	7	3	2	3	1	6	4	▲2									
	造林・その他の林業	0	19	0	16	▲3	▲15.8	7	7	0	2	1	▲1	4	5	1	5	3	▲2	3	1	▲2									
	小計	0	34	0	34	0	0.0	0	10	0	11	1	0	3	0	4	1	0	8	0	12	4	0	7	0	6	▲1	0	9	0	5
第三次産業	小売業	0	79	1	98	19	24.1	32	1	44	12	1		▲1	31	33	2	4	7	3	12	14	2								
	社会福祉施設	0	89	0	117	28	31.5	31	48	17	1	6	5	41	46	5	13	14	1	4	9	5									
	飲食店	0	19	0	28	9	47.4	10	15	5				0	3	9	6	3	3	0	3	1	▲2								
	その他の第三次産業	1	143	2	174	31	21.7	71	1	79	8	2	4	2	1	46	47	1	17	25	8	9	1	23	14						
小計	1	330	3	417	87	26.4	0	144	2	186	42	0	4	0	10	6	1	121	0	135	14	0	37	0	49	12	0	28	1	47	19
その他	0	25	1	34	9	36.0	8	15	7					4	4	11	1	16	5	2	2	0	4	1	▲3						

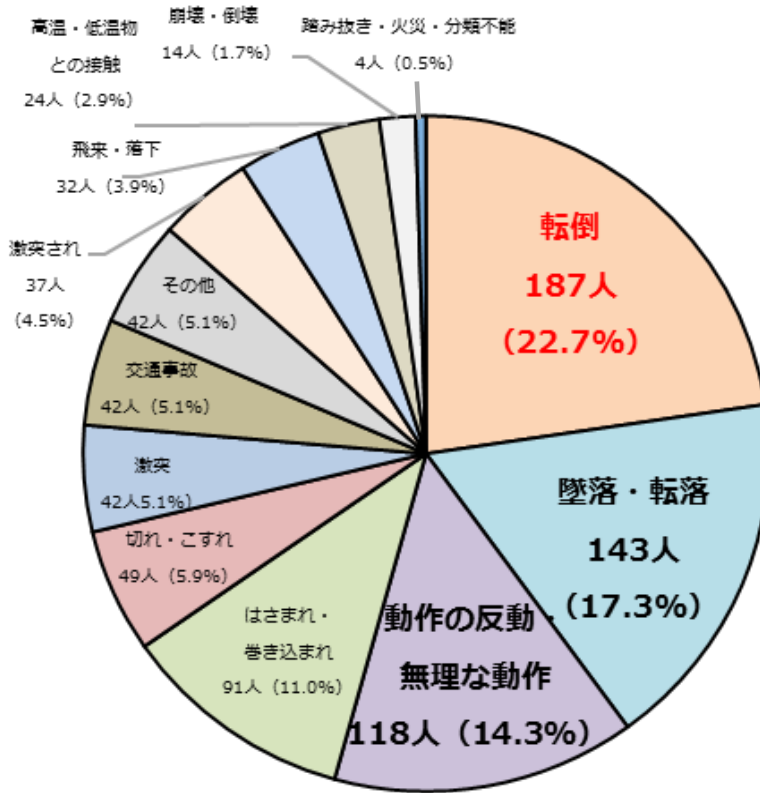
注1: 休業4日以上、隠岐は松江署の内数。注2: 増減数と増減率は、前年同月比。

注3: 第三次産業とは、全産業のうち、製造業、鉱業、建設業、運輸交通業、貨物取扱業、農林業、畜産・水産業を除くもの。注4: その他とは、貨物取扱業、農業、畜産・水産業。

令和3年死亡災害発生一覧

番号	発生月	業種	発生状況
1	2月	第三次産業	片側2車線の道路でUターン旋回中に、後方から走行してきた車両に追突されたもの。
2	6月	その他の事業	ビニールハウスの裾部分を土に埋める作業を行っていた。姿が見えなくなった。その後、駐車場の自家用車内で倒れていたのを発見されたもの。
3	8月	建設業	建築工事現場の屋根上で資材片付け作業中、照明設備を取り付けるための開口部(90cm×90cm)から、約11m下のコンクリート床に墜落したもの。
4	10月	第三次産業	新聞配達のため、スクーターを手で押しながら店舗前の道路を横切り、スクーターに跨った際に、後方から走行してきた車両に追突されたもの。
5	12月	建設業	乗用車を運転中、反対車線へはみ出し、対向車と衝突したもの。
6	12月	畜産業	軽トラックが斜面に乗り上げたので、降車しようとしたところ、軽トラックが横転し、ドアと車両の間に挟まれたもの。

事故の型別死傷災害発生状況



年齢別による死傷災害発生状況

